



No.226 (選挙号外)
 発行：高知県労連書記局
 住所：高知市丸ノ内2-1-10
 〒780-0850 高知城ホール3階
 [TEL]088-872-3406
 [FAX]088-822-7969

県知事選挙「徹底比較」企画

11月24日は高知知事選挙と高知市長選挙の投票日となっています。特に、市民と野党の統一候補となった「松本けんじ」候補の闘いには、全国から注目が集められています。岩手、埼玉の知事選挙に続き市民と野党の共同候補を誕生させましょう。県労連は、松本けんじ候補の推薦を決定しています。「自公」対「野党統一」の一騎打ちとなった選挙です。両候補者の政策や各組織が行った公開質問状への回答などを参考に、比較を行いました。「選挙に行く」との呼びかけとともに、「どんな暮らし、どんな政治を求めるところ」に発展させ、組合員や知り合いと対話を重ねましょう。

【部内資料】

	松本けんじ候補	浜田せいじ候補
コンセプト キーワード	誰一人取り残さない県政 尾崎県政の良い部分は継承	共感と前進 尾崎県政を継承・発展
医療・健康	<ul style="list-style-type: none"> ・公的病院の再編縮小計画に反対 ・地域包括支援センター機能の強化 ・国民健康保険料の見直し・介護保険料の軽減を国に提言・県制度を検討 ・労働者の処遇改善 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域に合わせた医療提供体制 ・地域包括ケアシステム ・持続可能な社会保障モデル ・あったかふれあいセンターの取り組み ・きめ細かい障害者支援 ・在宅医療の充実
教育	<ul style="list-style-type: none"> ・県版学力テスト廃止 ・子どもに寄り添える、人力的余裕のある学校づくり ・教員を増やす ・給食費の無償化 ・特別支援学校を拡充 	<ul style="list-style-type: none"> ・虐待、非行、いじめ対策 ・「チーム学校」構築 ・貧困・不登校児、学力未定着児などへの切れ目ない支援 ・学校・家庭・地域の連携 ・教職員の働き方改革
防災	<ul style="list-style-type: none"> ・自治体のマンパワーの充実 ・自主防災組織との連携強化・ソフト対策 ・住宅の耐震化、 ・浦戸湾の三重防護事業の推進 ・原発再稼働に対する同意権を求める 	<ul style="list-style-type: none"> ・揺れ、火災、臨時情報対応のさらなる徹底 ・医療救護対策などの幅広い展開
インフラ	<ul style="list-style-type: none"> ・計画的なメンテナンスと老朽化対策 ・特定財源創設を国へ提言 ・地域公共交通の拡充 	<ul style="list-style-type: none"> ・四国8の字ネットワークなどの基幹インフラ ・河川改修、港湾や海岸堤防の整備 ・移動手段確保の推進
子育て支援	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども医療費助成の拡充 ・妊産婦医療費助成の創設 ・国保の子ども均等割りの減免制度の創設 ・親の経済負担軽減 ・世代ニーズに応えた施策 ・男性育児休暇の取得環境整備 	<ul style="list-style-type: none"> ・独身者出会いの機会拡充 ・高知版ネウボラ ・ファミリーサポートセンターの充実 ・地域子育て支援推進

県知事選挙「徹底比較」企画

	松本けんじ候補	浜田せいじ候補
中山間地域	<ul style="list-style-type: none"> ・中山間・奥山間地など地域地域で高齢者の生活を支えている地域包括支援センターの機能を抜本的に強化する 	<ul style="list-style-type: none"> ・集落活動センターの拡大 ・鳥獣対策
文化・芸術 スポーツ		<ul style="list-style-type: none"> ・親しむ機会の創出 ・歴史文化の研究と活用 ・気軽に楽しめる環境 ・競技力向上対策の強化
ジェンダー	<ul style="list-style-type: none"> ・ジェンダー平等の推進 ・同性カップルのパートナーシップ条例 	<ul style="list-style-type: none"> ・女性のライフステージに応じた就労支援
環境	<ul style="list-style-type: none"> ・気候変動問題への積極的な取り組み ・再生可能エネルギーの推進 	
労働	<ul style="list-style-type: none"> ・一次産業や福祉現場の処遇改善 ・最低賃金を時給1000円（社会保険料の事業主負担の軽減） ・正規雇用を増やす 	<ul style="list-style-type: none"> ・建設業の活性化
安全	<ul style="list-style-type: none"> ・米軍機の低空飛行訓練の中止要求 ・憲法違反の集団的自衛権を容認した安保関連法制の廃止 ・専守防衛に徹する現実的で責任のある安全保障政策を国に要求 	
経済	<ul style="list-style-type: none"> ・地域循環型経済にする ・一次産業への支援 ・中小企業支援 ・社会保障分野で働く人の処遇改善で経済の土台をつくる ・地産地消の再生可能エネルギーで地域の雇用創出 ・県発注事業の時給は1000円以上に 	<ul style="list-style-type: none"> ・関西圏の活性化（大阪万博・IR誘致）を呼び込む ・県外や海外とのネットワークを構築 ・関西圏への展開 ・デジタル技術と地場産業の融合 ・中山間地域を意識した取り組み ・移住促進
推薦している政党など	立憲民主党、国民民主党、日本共産党、社民党、新社会党、広田一（衆議院議員）、高知憲法アクション	自民党、公明党、尾崎正直（高知県知事）

※浜田候補にも質問状を出しましたが、回答が間に合わないとのことでした。

【松本けんじ候補への質問】

設問	回答	理由
日本の核兵器禁止条約への批准について、考え方をお聞かせください。	批准に賛成	人類と核兵器は共存できません。被爆国として、核兵器禁止条約の発効にむけ、イニシアチブを発揮すべきです。
米軍機によるオレンジルートでの低空飛行について、考えをお聞かせください。	低空飛行に反対	高知県は4度の墜落事故を経験しており、一步間違えれば大惨事になっていました。日米地位協定を抜本改定し、禁止すべきです。
県経済や農業への影響を考えた際、日米FTAやTPP11、日欧EPAについてどうお考えですか。	反対	一次産業は、県の基幹産業ですし、食料主権を守ることは国の責務です。さらに公的医療の解体、公共調達開放による建設業への打撃など、地域の暮らしを破壊するからです。
公契約条例の制定についてのお考えをお聞かせください。	制定に賛成	増え続ける働く貧困層の解決は日本社会の重要課題です。労働者の暮らしを守ることは公的サービスの質と安定性確保、地域経済にとっても重要です。
小規模企業振興条例の制定についてのお考えをお聞かせください。	賛成	高知県の事業所の圧倒的多数は中小・零細事業所です。その声を反映し、政策に活かすとともに、予算の根拠となる条例は、策定過程からの当事者参加を重視します。
値上がりを続ける国保料の抑制とそのやり方についてお考えをお聞かせください。	抑制に賛成	地方団体が要望している公費1兆円投入を国に強く求めます。負担軽減をめざし、まず子どもの数が多いほど負担が増える仕組みの改善へ、県として減免制度を作ります。
保育無償化に対し、県として給食費も含めた無償化実施についてお考えをお聞かせください。	無償化支援に賛成	これまで保育料に含まれていた副食費を別途徴収するのは、子育て支援に逆行、保育所に余計な仕事を押し付け、保育士不足を加速するもので、無償にすべきです。
子どもの医療費助成制度を県独自で対象年齢を引き上げることにについてお考えをお聞かせください。	引き上げに賛成	県の助成制度はこの間前進していません。県の助成増で、高知市の中学生の医療費無償化を後押しするとともに、他の市町村では、その予算で、他の子育て支援の前進につなげます。
公的病院の再編成についてどうお考えですか。	再編成に反対	医療費抑制を口実に、地域の実情を無視して、一律的に病床削減を押し付ける国のやり方は反対です。公立病院再編もその一環です。医療体制は、安心して暮らせ、子どもを生き育てることができる地域づくりを基本に議論されるべきです。

ミスリードに惑わされぬ 争点を見極める「目」を持つ

11月7日に高知県知事選挙が告示され、高知県の未来を担う大切な選挙が本番を迎えました。市民と野党の統一候補の誕生に、相手陣営も必死になつていきます。一部では、事実と異なるようなミスリードも聞こえてきます。相手陣営の攻撃に惑わされぬ「目」を持ち、市民と野党の共同で、要求を実現させましょう。

争点は継続か中断？

尾崎知事は、会見で「今回の知事選挙の争点は、産業振興計画や南海トラフの防災対策などを継続して進めていくのか、それとも中断するのか」と誤った争点を県民に提示しています。両候補の政策を見ても、どちらも「尾崎県政の継承」を掲げています。松本けんじ候補は、「産業振興計画や防災対策などの良い部分は残し、手の届いていない部分を発展させる」としており、対する浜田せいじ候補も「尾崎県政を継承し発展させる」としています。

浜田せいじ候補は、街頭演説でも「産業振興計画を継続していくのか、それを止めてゼロにするのか」と、明らかに悪意のある「ミスリード(人を間違った方向に導くこと)」を行っています。松本けんじ候補は若すぎる？松本けんじ候補の年齢は35歳で、対立候補の浜田せいじ候補は55歳です。尾崎知事が知事に初当選したのが40歳ですので、それと比較しても確かに若いと思われるかもしれません。しかし、高知県政は1人で担うものではありません。私たち県民一人一人が県政へ参加し、その方向性を決めていくものです。それに加え、経験豊かな3000人以上の県職員が県政を支えています。行政経験がなければいけない？相手陣営は、松本けんじ候補に行政経験がないことも攻撃を加えています。「県職員を束ねていくのか」と指摘し、島根県総務部長や総務省自治財政局地域企業経営企画室長、大阪府副知事などを経験した浜田候補との差別化を図ろうとしています。しかし、浜田候補が行政時代に行ったことは、小泉政権下での「三位一体改革」の忠実な遂行、公的病院の再編縮小、大阪での

IR(カジノ)の推進です。いくら行政経験があろうとも、住民の生活を顧みず、国の施策(悪政)を粛々と遂行していくようでは、県民に寄り添う政治はできません。

国民大運動実行委員会が行った公開質問(3面に掲載)に対し、浜田せいじ陣営は、「広報がバタバタして間に合わない。知事になつた際には、勉強しながら対応していきたい」と回答しました。県が抱える課題への政策を現時点では持つていないことが浮き彫りとなつていきます。本当の争点は何か今回の選挙の本当の争点は、「年齢」や「行政経験」ではなく「誰に立脚するのか」です。県民の立場に立ち切れる知事を選ぶのが本当の争点です。

県政と国政は切り離せません。であれば、なおさら県民の暮らしを守っていくためには、国政へモノが言える知事であればなりません。松本候補と浜田候補の違い松本けんじ候補は一貫して「県民の立場で国へダメなものダメ」と言う」と明言しています。それに対し、浜田せいじ候補は会見でも「国が責任を持って決めたことには敬意を払うべき」としています。

クロスワードパズル

図書券プレゼント

《応募方法》

クロスワードの答えと、機関紙の感想、組合名、郵便番号、住所、氏名、年齢を記入の上、県労連書記局宛にお送り下さい。

抽選で3名に図書カードをプレゼントします。(ハガキ、FAX、eメール「高知県労連HPに記載しています」締め切りは12月6日までとなります。

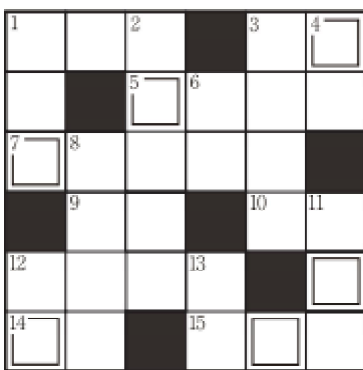
前号の謝罪

225号のクロスワードパズルの答えは「シヨクヨク」でした。当選者は左の通りです。

【当選者】

酒井 弘 さん (県教組)
野口 正晃 さん (自治労連)
岩目 芳純 さん (自治労連)

申し訳ありませんが、事務の都合上、図書カードの発送が遅れております。ご了承ください。



カギを解き二重枠の文字を並べてできる言葉は？

- 【タテのカギ】①最新の対 ②師範に代わって教える人 ③名高い、有名 ④魚籠。何と読む ⑥気取り屋。——な奴 ⑧ジェット機の——がうるさい ⑩夏のはじめ ⑫——の中のライオン ⑬腐っても——

クロスワードパズル

【ヨコのカギ】

- ①目立った才能がある人。——、才に倒る ③小柄。お——さん ⑤悲劇的な結末 ⑦コバンイタダキともいう ⑨酔つて——をまく ⑩強い——を持ち成し遂げる ⑫旧名は豊後 ⑭ベル ⑮水族館の芸達者動物